



青森県 全国初 全県で学校給食無償化へ

2024年2月、青森県で「学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」の創設を盛り込んだ2024年度当初予算が成立し、全県での小

中学校給食の無償化が実現しました。宮下宗一郎青森県知事は記者会見で、交付は今年10月に実施し来年以降も継続すると表明。予算額は年度途中のため19億5400万円。平年では38億800万円を見込んでいます。県によると都道府県単位で一律の給食費無償化は全国初とのこと。

これまで実施は各市町村でおこなっていたため、私立中学校や県立特別支援学校などは対象外でしたが、今回の決定は全県実施のため、公立の小中学校の他、私立中学や県立特別支援学校なども含まれており、すべての小中学生が対象となりました。とても大きな成果です。市民の運動と、議会に繰り返し訴えてきた市民

団体の要求が実現しました。

23年度から完全無償化に

青森県ではこれまで主食とおかず、牛乳がセットの「完全給食」のほか、おかずや牛乳のみの給食も含めると県内40市町村全てで何らかの形で学校給食を提供しており、このうち17市町村で給食費の完全無償化を実施していました。この度の新設の交付金の使い道は、学校給食費の無償化を最優先とするとし、2023年度

の全市町村の学校給食費平均単価を基に、1食当たり小学校280円、中学校310円を上限に無償化に必要な経費を全額補助します。一方、県知事は、すでに給食費の完全無償化を実施している市町村については、「無償化を実施している市町村へ支援することは市町村の自治権を侵害することになる」とし、給

食費の完全無償化には交付金を出さず、他の独自に行う子育て支援事業費の8割を県が補助するとしています。すでに実施している市町村は様々な苦心をして予算を生み出し無償化に踏み切ったものであり、そこに支援がないというのは大きな問題です。

今後私たち全県の市民団体は、「学校給食費無償！ 青森全県実施！」という大きな成果を力に更に改善を求めて運動していくこととなります。すでに学校給食をがんばって無償にしている市町村にも交付金を使えるようにすること。市町村がこれを機に新たな子育て無償化事業に積極的

に踏み出すように働きかけること。給食材料費の高騰など対応できない面について弾力的運用を求めていくことなどの課題があります。

子育て支援の充実を

4月に県社会保険推進協議会が行った市町村へのアンケートによると、県が今回の交付金創設を発表してから県内の完全給食無償化は37自治体に広がり、全県実施まであと3自治体となりました。まだ、すでに実施していた17自治体を中心に保育料の無料化や修学旅行の補助または無料化、保育所の給食費・服飾費の無料化、おむつ代無料化、18歳までのインフルエンザ予防接種の無料化、高校までの通学費の支給、不妊治療費の負担ゼロなど新たな子育て支援策が大きく広がっています。とてもうれしいことです。

学校給食は食育と子どもの健やかな成長を保障する学校教育の一環です。さらに地場産食材を取り入れることは、地場農漁業の振興や環境保全につながるものです。これからの力を合わせて運動をすすめていきたいと思います。

全国のみなさん、一緒にがんばっていきましょう。

青森県生活と健康を守る会連合会

事務局長 神 江美

